

四国化成 工場火災- 西日本防災システム

2013 05 22

5月22日午後0時5分頃、香川県丸亀市港町の四国化成工業丸亀工場で「二硫化炭素が燃えている」と119番通報があり、消防車が出動するとともに、爆発の危険性があるとみられたため、丸亀署が付近の小学校や保育所に避難を呼び掛け、幹線道約1.2キロを一時通行止めにしたようです。約1時間後に鎮火しましたが、近くにいた男性(58)ら4人がのどの痛みを訴えて病院で手当を受けたそうです。

消防などによりますと、同日午前11時50分頃、工場の鉄骨スレート5階建てプラントで出火し、二硫化炭素などが入っているタンク付近の配管の一部が焦げるなどしたようです。

二硫化炭素はタイヤの原料を製造するために使用するそうです。タンク間の配管が何らかの原因で詰まったため、タンク内の液体約800リットルが漏出し、液体に含まれていた二硫化炭素が気化して燃え、刺激臭のある亜硫酸ガスが発生したとみられるそうです。

同署から連絡を受けた近くの平山保育所は園児ら約110人が城北小学校体育館に避難しました。同小では校舎の窓を閉めて児童らに屋外に出ないように指示したそうです。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

